

ベトナムでの1995年10月24日の日食

10月24日、北インドから東南アジアを通り太平洋に抜ける地帯で、皆既日食の見えることはよく知られており、インドやタイでの日食観測ツアーの募集も既に始まっている。この日食帯は、ベトナムのホチンミン市(旧サイゴン)とその北東のダラートという町の中間を通り、すぐに海に出る。

ベトナム戦争で望遠鏡が破壊されて以来、ベトナムでは活発な天文の活動はなされていなかったが、最近IAUをはじめ、フランスにいるベトナム出身者が中心となって、ベトナムでの天文学の復興に力をかそうという動きが出ている。この日食にも、パリ天文台と天体物理学研究所が、電波干渉計と光学望遠鏡を持ち込んで、観測をしようと考えているし、筆者も口径40cm程度の光学望遠鏡をこれを機にベトナムに寄贈しようと努力している。

ベトナムでは、この日食についての委員会が設置され、外国からの観測者のための用意も進んでいるが、皆既の起きるのは現地時間で11時15分、皆既の時間は1分半程である。天候も、この時期海岸に近いこの地方ではかなりよいと、言われている。

また、この直前の19~21日にホチンミン市で国際会議があり、ベンツェル、スイングス、筆者などが講演することになっており、また26~28日には、ハノイで同種の会議が開かれると聞いている。日食観測や会議への、日本からの多数の参加が期待されている。

(古在 由秀)

「環境基本計画」に“光害”が盛り込まれる

さる12月16日の閣議で承認・決定された「環境基本計画」の中で、“光害”が生活環境へ悪影響を及ぼす可能性があり、検討すべき事象としてはじめて盛り込まれました。環境基本計画は環境基本法に基づく国の環境行政の大枠を示すものであり、ここに光害が盛り込まれたことは、今後の国策として光害に取り組む姿勢を示したことにほかなりません。しばしば、各地の光害防止の運動で直面する障害として、「国策で光害がとりあげられていない以上、地方自治体としては動きようがない」といった理由で地方自治体の取り組みが遅れる例がかなりありましたが、今後は新しい環境基本計画を根拠に取り組みを推進できると思われます。

この快挙は、岐阜市の市民団体「岐阜・夜空を守る会(会長：玉井武博)」が積極的に取り組んで実現したもので、こういった各地の団体が連携する全国組織「星空を守る会(会長：古在由秀)」の運動のはじめての目に見える成果でもあります。今後はいい意味での光害への認識が広がって行くだらうと思われます。

できる限り不要な灯りをなくし、天文学の観測環境を守っていく上でも、さらに天文学へのより広い理解を得るためにも、このような運動に今後とも学会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。(渡部潤一)

星空を守る会についてのお問い合わせ：

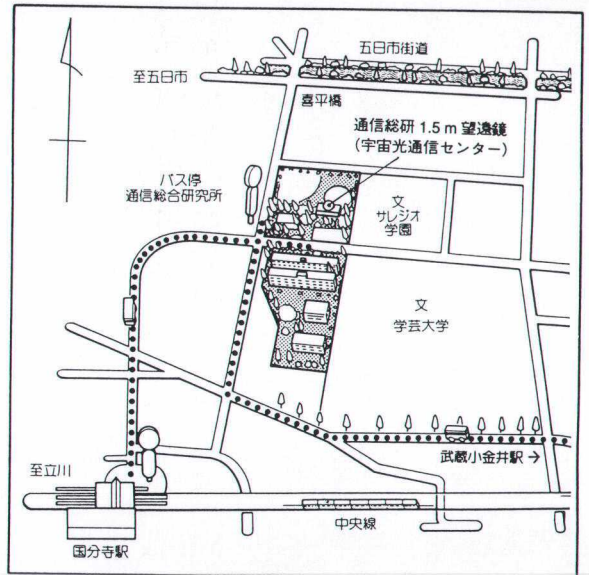
大友 哲 (〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里3545
電話 0551-48-3822)

月報だより

研究会・集会案内

郵政省通信総合研究所 1.5 m 望遠鏡の公開

日本天文学会1995年度春季年会在、東京学芸大学に於いて開催されるのに合わせて、郵政省通信総合研究所1.5m望遠鏡を下記の要領で公開します。通信総合研究所は東京学芸大学北門より出て西隣、望遠鏡施設は北側敷地内にあります(右図参照)。公開時間は、1995年3月23日(木)12時より18時、24日(金)9時より13時までです。問い合わせ先、〒184 東京都小金井市貫井北町4-2-1 郵政省通信総合研究所 廣本宣久宛 (TEL 0423-27-7548)。



人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1)所属部門・所属講座、(2)勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1)着任時期、(2)任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1)提出先、(2)問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

位置天文・天体力学研究系教員

1. 助教授一名
2. (1)位置天文・天体力学研究系天体力学研究部門
(2)国立天文台（三鷹）
3. 銀河動力学
4. 地上およびスペースからの観測によって、銀河動力学関連の運動学的・物理学的基礎データが急速に整備・刷新されつつあります。このような基礎データに関心をもちつつ、銀河・銀河系の構造や進化の解明に意欲的な助教授を求めます。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了またはそれと同等以上
7. (1)履歴書、(2)研究歴、(3)論文リスト及び主要論文別刷（共著の場合は本人の役割分担を明記）、(4)研究計画、(5)自薦の場合、本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、(6)他薦の場合、本人に期待できることがわかる推薦書
8. 1995年4月21日必着
9. (1)〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2)〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 位置天文・天体力学研究系
宮本昌典 電話 0422-34-3616
10. 封筒の表に「銀河動力学応募書類」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。
11. 選考は国立天文台運営協議委員会にて行ないます。

国立天文台電波天文学研究系教員

1. 助教授または助手1名
2. (1)電波天文学研究系
(2)長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 電波天文学（宇宙電波）
4. 電波天文学研究系は、45m電波望遠鏡とミリ波干渉計の共同利用運用を行いつつ、衛星を用いたスペースVLBI計画の推進や、将来計画としてのLMSA

計画（大型ミリ波サブミリ波干渉計）の実現のために努力しています。この中で、今回の公募では、LMSA計画を展望しながら、当面、その中心的課題であるサブミリ波観測の技術とサイエンスを大きく発展させることのできる意欲的な研究者を求めます。

5. (1)平成7年9月1日以降なるべく早い時期
(2)外国国籍の方を助教授に採用する場合には法令に基づき任期を定める場合が有ります。（ただし、再任は可）
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1)略歴書、(2)研究歴、(3)研究論文リスト及び主要論文別刷り（共著の場合はその役割分担）、(4)研究計画、(5)自薦の場合は本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先、(6)他薦の場合は推薦書
8. 1995年5月19日(金)必着
9. (1)〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2)国立天文台電波天文学研究系 稲谷順司
TEL 0267-98-4382 FAX 0267-98-2884
10. 封筒の表に「電波天文学応募書類在中」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行ないます。

国立天文台教官公募

1. 助教授 1名
2. (1)光学赤外線天文学研究系
(2)当面、東京都三鷹市（将来はハワイ派遣もありうる）
3. 光学赤外線天文学及び関連分野
4. 光学赤外線天文学研究系と大型光学赤外線望遠鏡計画推進部は、観測研究、装置開発研究を行いつつ、ハワイに設置する「すばる」望遠鏡の建設を推進しています。国内及びハワイでの「すばる」望遠鏡計画の推進、装置の開発研究・製作、及び「すばる」を用いた観測研究に強い研究意欲と責任をもって積極的役割を果たす助教授を求めます。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1)略歴書、(2)研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3)研究論文リスト及び主要論文別刷、(4)研究計画書、(5)本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先
8. 平成7年5月25日(木)必着
9. (1)〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 小平桂一

(2)〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台光学赤外線天文学研究系主幹
安藤裕康
TEL 0422-34-3601

10. 封筒の表に「光学赤外線天文学研究系人事応募書類
在中」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。選考は
国立天文台運営協議委員会において行います。なお、
外国籍の方の場合、法令に基づいて任期を定める場
合があります。

人事公募結果

国立天文台研究員の選考結果について

(天文月報第87巻12号掲載)

以下のとおり決定しました。

(一般の研究分野) 2名

横山央明
廣瀬雅人

(電波天文学研究分野) 4名

Sheng-Cai Shi
Baltasar Vila-Vilaro
久野成夫
堤 貴弘

学会動向

物理学会から天文学会へ下記の依頼がきておりま
すのでお知らせいたします。

日本物理学会では、物理教育をとりまく環境が大きく
変動しつつある現在、大学を中心に、その多様な教育現
場に対応することを目標に、このたび「大学の物理教育」
誌を刊行いたしました。読者からの投稿を重視した開か
れた誌面を作り、情報の交換にも役立てたいと願ってお
ります。

つきましては、貴会会員の中にも関心をお持ちの方が
おられるのではないかと存じますので、下記購読申込要
領を会誌など適当な方法で会員の方々に御紹介いただ
ければ誠に幸いと存じます。

「大学の物理教育」購読申込方法

刊 行：年3回(3月, 7月, 11月)

頒 価：個人 1年分 1,000円(送料込)

機関 1年分 2,500円(送料込)

申込方法：代金(現金書留・郵便小為替・郵便振替等)
を添えて、後払(機関のみ)の場合は必要書
類を明記のうえ、日本物理学会事務局まで。

申込・問合せ先：

〒105 東京都港区芝公園3-5-8

機械振興会館211号室

日本物理学会事務局

電 話：03-3434-2671

FAX：03-3432-0997

振替口座番号：00120-4-167544

なお創刊号は個人500円、機関800円、送料200円でお頒
けいたします。

編集委員 谷川清隆(編集長), 坂尾太郎, 田代 信, 中川貴雄, 中村 士, 濱部 勝, 林 左絵子, 半田利弘
平成7年2月20日 発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内
印刷発行 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12
定価700円(本体680円) 発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内
電話 (0422)31-1359 (FAX自動切換) 振替口座 東京 6-13595